

経営比較分析表（令和4年度決算）

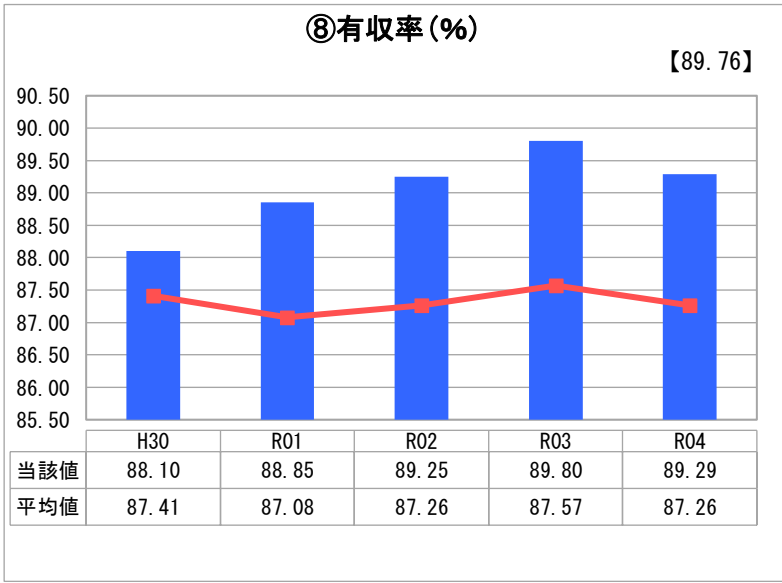
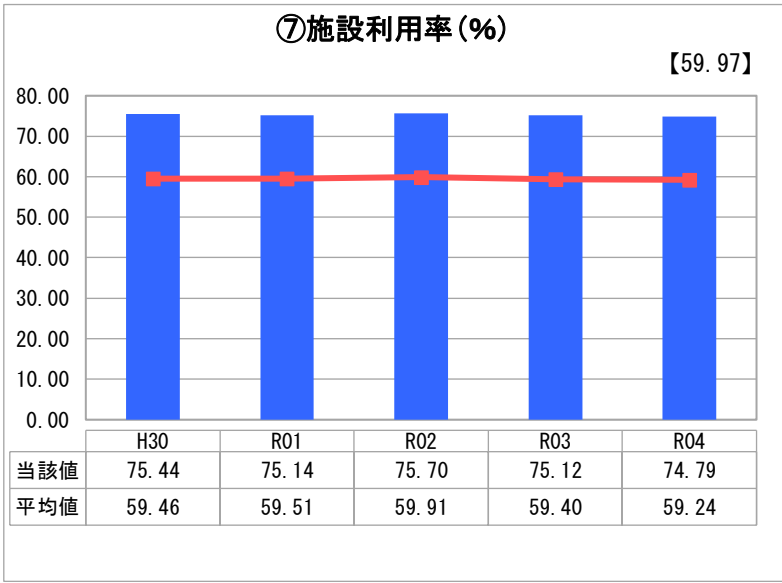
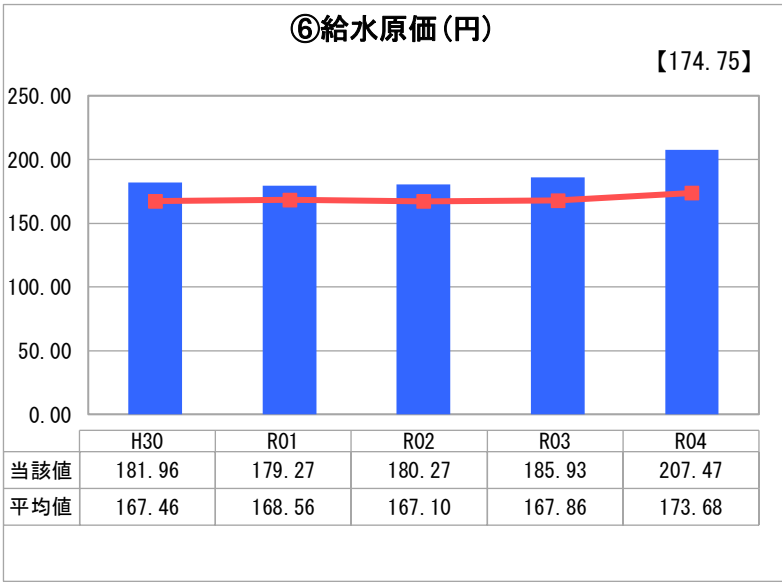
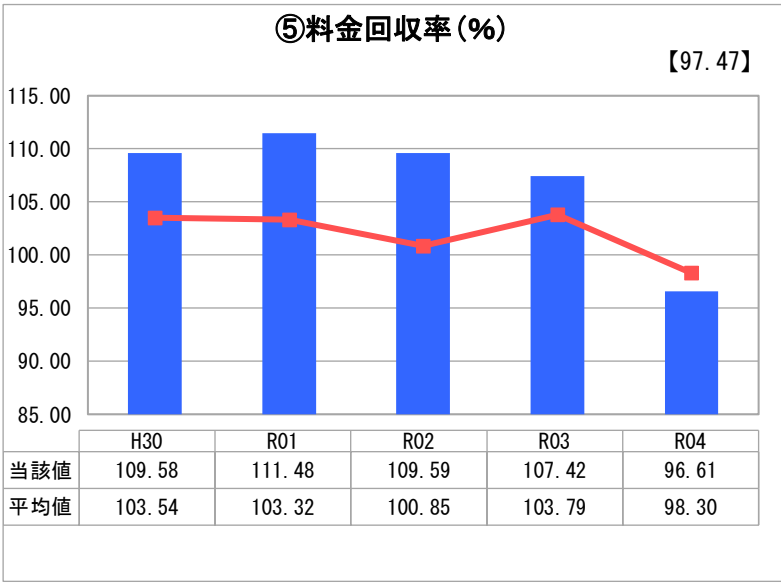
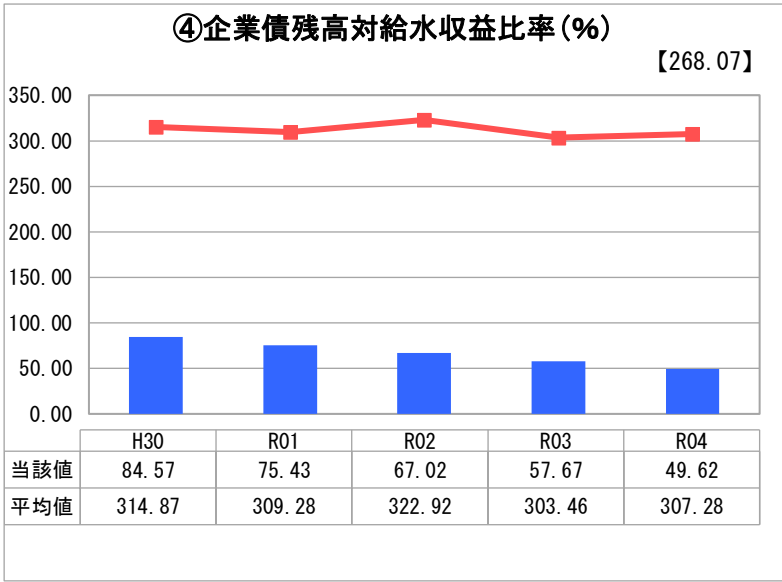
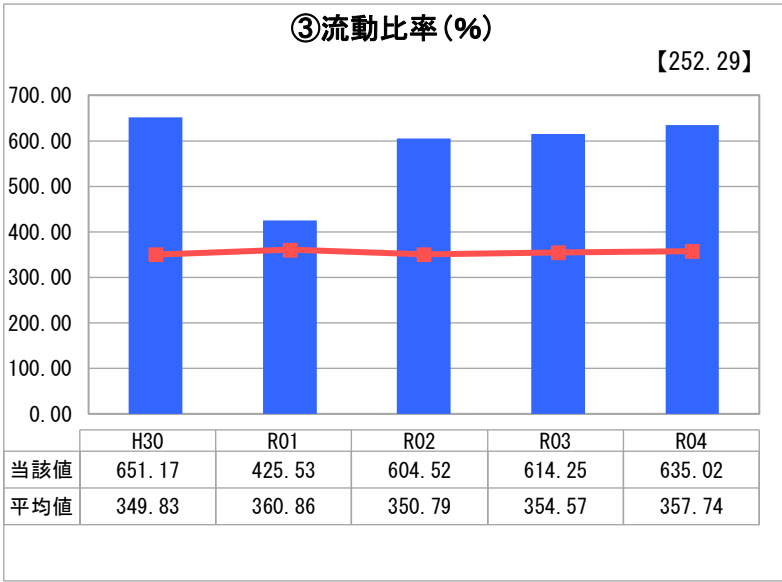
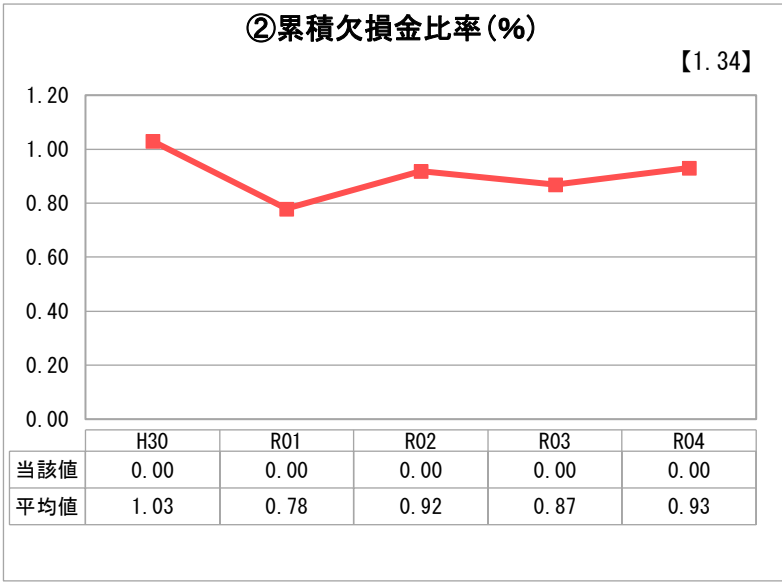
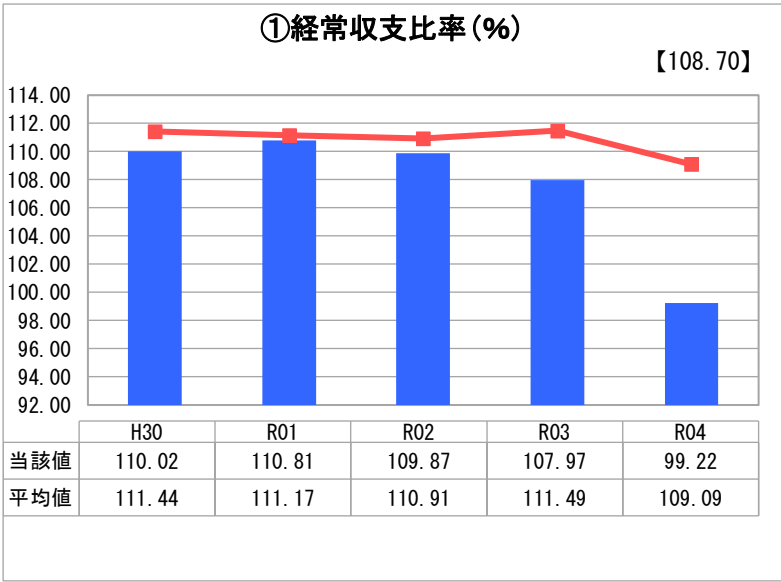
岐阜県 美濃加茂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	93.72	99.48	3,850	

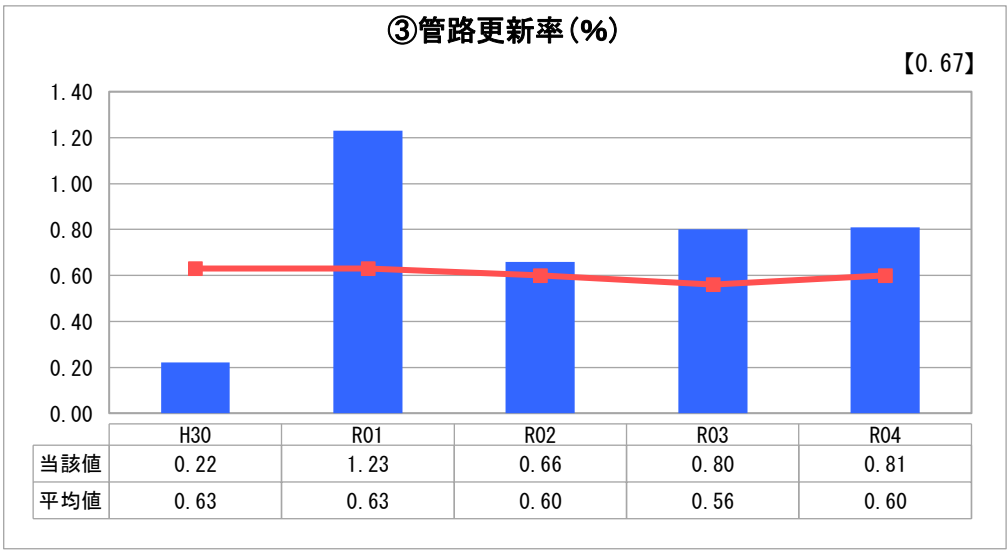
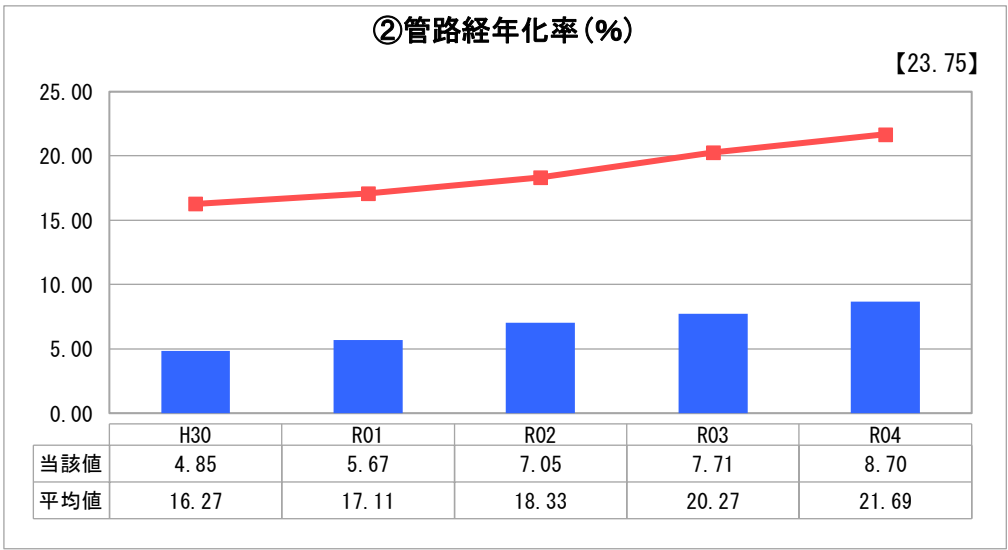
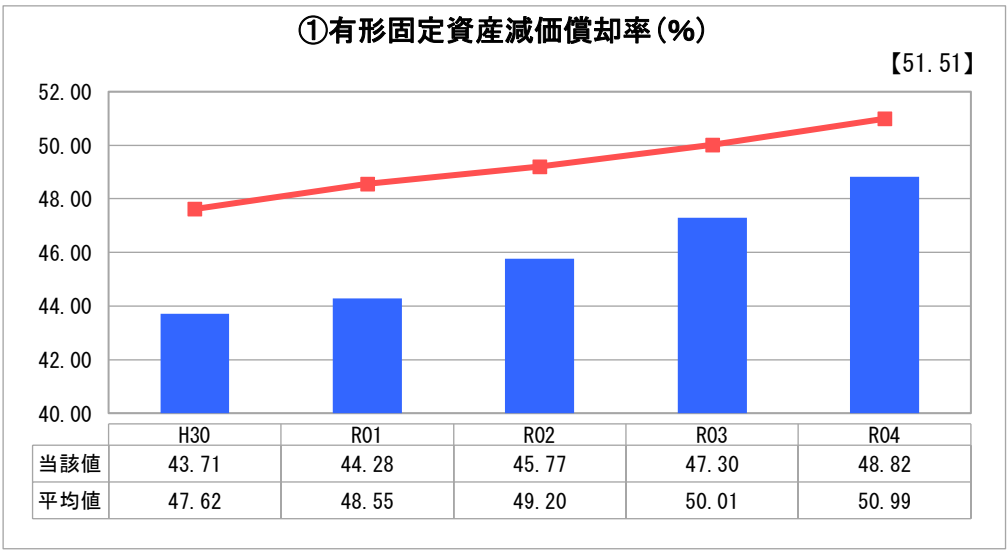
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,220	74.81	764.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
56,878	43.30	1,313.58

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

給水収益の減少傾向にある中で、燃料費の高騰により浄水場等における動力費が大幅に増加したこと等による経費の増加により、前年度と比較して、経常収支比率は8.75ポイント減少、給水原価は21.54円増加、料金回収率は10.81ポイント減少した。令和4年度は年度途中において想定を超える費用の増加により単年度の収支が赤字となったが、黒字への転換ができるよう費用の見直しを行い、健全な経営に向けて改善に努める。

流動比率は前年度から20.77ポイント増加し、類似団体と比較して短期債務に対する支払い能力が高いといえる。

企業債の償還による企業債残高の減少により、企業債残高対給水収益比率は前年度から8.05ポイント減少している。

前年度と比較して、年間総配水量が減少したことにより施設利用率は0.33ポイント減少している。また、総配水量の減少よりも有収水量の減少割合が大きく、有収率が減少したものの一昨年と同水準となっており、施設利用率、有収率ともに類似団体と比較して高い水準を保っている。効率的な経営ができるよう今後も引き続き有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

水道施設の老朽化の状況は類似団体と比較して概ね良好ではあるが、前年度と比較して、有形固定資産減価償却率は1.52ポイント増加、管路経年化率は0.99ポイント増加しており、増加傾向にある。

また、管路更新率は前年度と同程度となっており、類似団体と比較して高い水準となっているが、管路経年化率は増加傾向にあることから、計画的に老朽管の更新を進め、耐震化等による防災対策や有収率の向上に努める。

全体総括

当事業の経営状況は、全国平均や類似団体と比較して安定的な経営が維持されてきたところである。しかしながら、人口減少や節水機器の普及などの影響により給水収益の減少が見込まれる中で、令和4年度は燃料費の高騰や物価高騰などの影響を受け、今後も浄水配水施設の老朽化による維持費用の増加が予想されるため、引き続き費用の見直しを行い、経営の健全性向上に努める。

令和2年度に策定した「新水道ビジョン」の基本理念である「生活を支える、安全で強い水道を次世代に」の実現に向けて、今後はより一層、経営の効率化を図るとともに、老朽管や経年施設の計画的な更新により安定給水能力の向上に努める。